

3月15日1982・No. 41

発行所

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 552-1855

印刷所 八千代印刷株式会社

編集 田島 弘

京橋の印刷



目次

△表紙▽京橋支部新年臨時総会	1
巻頭一言	1
昭和五十七年京橋支部臨時総会	2
経営者に求められる リーダーシップ(Ⅱ)	6
国際組版・上海工場訪問	10
湊地区懇親旅行記	12
ドルッパ展および欧州印刷事情 視察に参加しよう	15
京青会顔合わせ会	15
支部の動き、訃報、編集後記	16

巻頭一言

二月のはじめから各地の梅まつりの便りが伝えられている。月末の久びさの休日に庭のおそ咲きの梅が、色づいて二、三輪淡いピンクの花びらをみせているではないか、数日前までは固い蕾の膨らみすら感じられなかったのに、ひと雨ごとに春の訪れの早さに驚かされてしまった。

季節の移りかわりのように、印刷業界の流れも日日、新技術の変革は激しいものである。反面業界環境は厳しく、景気はまだ寒中で春めいてくるのを首を長くして待ち望んでいる有様で、ゼロ成長時代を迎え、日本経済も欧米型になろうとしているように思える。これからの経営や技術導入は時代の流れを見極めて対応することを痛感する次第である。



昭和57年

京橋支部新年臨時総会

東印工組京橋支部、昭和五十七年新年臨時総会は、一月十四日(木)、昨年に引き続き「銀座東急ホテル」に於いて、午後四時半より開催された。

本年は、各地区にてそれぞれ新年会が開かれる予定もあってか、いつもより幾分出席者が少ないように見受けられたがそれでも、司会の田島副支部長が定刻開会十分の遅延のお詫びを述べる頃には、可成りの出席者で埋まった。

三田村副支部長が、開会のことばを述べた後、石曾根支部長は次のように挨拶した。

——新年あけましておめでとうございます。

昨年は組合員の皆様のご指導、ご協力を賜わり、組合事業も多端にわたりましたが、大過なく乗り切ることができました。厚く御礼申しあげます。

また本日の支部臨時総会に当りまして多数の組合員の皆様のお集まりを頂きまして、盛大に開催できましたことを併せて御礼申しあげます。

本部より松島副理事長さんをはじめ、ご来賓の皆様にはお忙しいところご臨席を賜わりまして、錦上華をそえて頂き有難うございます。

印刷業界も、構造改善事業二年目ではありますが、低迷する日本経済の影響を受けて推移いたしましたが、加えて、製紙業界の不況カルテルの結成に伴う用紙価格の上昇が、私どもの環境に一層の厳し

名刺
刺き
が
下
筒
封
カ
レンダー

業界のトップメーカーで
全国で一番よく使われている!

TRADE MARK

ハート株式会社

東京東支店	135 東京都江東区冬木15番10号 電話(03) 641-1153番
東京西支店	166 東京都杉並区高円寺南2丁目37番4号 電話(03)316-2151代表 4番
東京南支店	140 東京都品川区東品川3丁目26番4号 電話(03)450-1911代表 4番
東京北支店	112 東京都文京区水道2丁目8番6号 電話(03)941-3141代表 6番

紙の心をお届けする

HAGA

HAGA PAPER CO., LTD.

株式会社 芳賀洋紙店

本社 / 東京都中央区新川1-25-7
〒104 Tel. 03 (552) 9251 (大代)

杉並・仙台・高崎・名古屋・大阪・福岡

さを増し、需要の減退とコンピュータなどによる技術革新が、印刷業界へ浸透して参りました。このように私どもを取り巻く情勢に対応するためにも、国の助成をうけて「構造改善事業」に取り組みんでおります。

その中心的な柱として、「知識集約事業」を当支部においても、昨年四月の通常総会より、人材養成を重点として推進してまいりました。特に国の助成を有効に利用するためにも、構改次年度計画の調査表の提出をお願いしてありますが、昨年末の期限を超え、当京橋支部におきまして一月十二日現在、七五・三%の集約でありまして、いま一息のところであります。国の助成を受けるには是非ご提出願わねばならないものであります。

支部事業といたしましては、五月には「組見本による難易度判定」の研修会を六月には「ファスト・システム」講習会を、ワードプロセッサの実演をまじえて、ともに日本橋支部との共催でおこないました。七月は製紙不況カルテルに関する説明と情報収集を行いました。八月「オフコン研修会」の開催。九月は「危機突破・適正料金貫徹総決起大会」への参加準備として、印刷シンボルマーク入りのネクタイピンと、料金改訂の要請セットの有料頒布の取り組みと大会参加。十月には「税務研修会」を、製本工組京橋支部と共催で行ないました。さらに「経営者・営業マン研修講座」を、十

月はじめから十一月の二カ月にわたる八回、一回三時間午後六時より九時までの計二十四時間の講座を、東京商工会議所中央支部のご後援と、日本印刷技術協会のご協力で開催することができました。また、この間に印刷週間と第24回印刷文化典の取り組みを行ないました。

特に製紙業界の不況カルテルについては、製紙業界の生産・在庫調整と体質改善は結構であります。用紙価格の上昇



森元雄氏に記念品贈呈

を計ろうとすることは絶対反対でありまして、当京橋支部は東印工組全支部に呼びかけ、用紙価格値上げ反対運動の中核として闘ってまいりましたが、不況カルテルも第一次、第二次と六カ月間にカルテル計画の生産超過と、在庫調整が進まぬままに推移し、第三次も越年し二月十

五日をもって終了することになりましたが、用紙価格の値上げには頑張ってハネ返えしていく覚悟であります。

新しい年を迎え、私どものおかれていゝ環境は厳しいものがありますが、この三月の任期いっぱい最善を尽す所存であります。組合員皆様の一層のご協力をお願いし、ご企業の繁栄とご健康をお祈りして挨拶いたします。

石曾根支部長のご挨拶に続いて議事に移り、支部規約に則り支部長が議長を務め、次期役員選考委員の選定について、規約第十二条に基づき、部長、地区長会に於てあらかじめ推薦された次の七名が発表された。

- 支部顧問 花崎 実(新富地区)
- 齊藤 喜徳(入船地区)
- 石沢 幸(八丁堀地区)
- 相談役 池宮 義久(湊地区)
- 地区長 伊森 善之(新川地区)
- 支部長 石曾根啓悦(月島地区)
- 副支部長 田島 弘(湊地区)

審議の結果、以上七氏の承認が全員の拍手で決まり、次期支部長ならびに本部役員を選考の任に当たりたいとの議長より説明があり拍手をもって承認された。

議事はこれですべて終了し、続いて功労者表彰祝賀及び記念品贈呈が行なわれた。まず初めに全印工連功労者として表彰された大東印刷工芸株式会社花崎実氏、都知事特別表彰を受けた榑齊藤正文堂社長斉藤喜徳氏、労働大臣表彰をお受

雑誌合本 文献製本
 文書類
 毎週木曜日貴地区を巡回致します
 東京都製本工業組合・図書館製本所会員
(有) 染野製本所
 市川市八幡 4-18-27
 Tel-0473(34)3824

日本を代表するインキ
 TOYO KING
ULTRA70

東洋インキ

けになった頼モリイチ社長森元雄氏の順に、それぞれ石曾根支部長より記念品が贈られた。

来賓挨拶に入り、予定にはなかったが鳩山邦夫衆議院議員がまず登壇し、国会中小企業部会長としての立場から、中小商工業者の代表として力を尽したい旨の挨拶があり盛んな拍手を受けた。



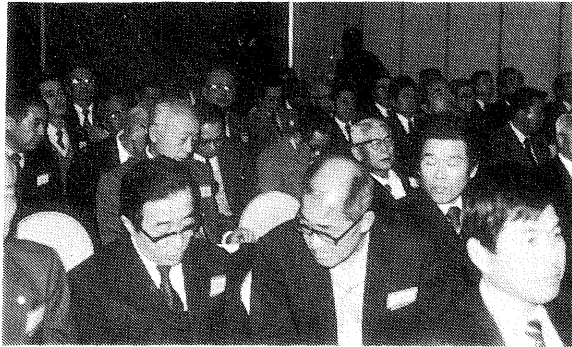
鳩山邦夫議員のご挨拶

東印工組松島副理事長は、不況の中で低迷する印刷業界が抱える課題についての対応、また第三年目に入った構造改善計画を推進し、実りある内容にしていかなければならないと説き、これからの業界を展望して、若々しいエネルギーな活動を切望すると共に、中小印刷業は「専門化集団」として互いに手を携え、大企業に対抗していかなければならないと結んだ。

中央区深沢商工課長は、祝辞の中で、今年の秋に中央区工業展を開催することになっているが、工団連創立二十周年行事も計画しているので、地元業者の皆様のご協力をお願いしたいと述べた。

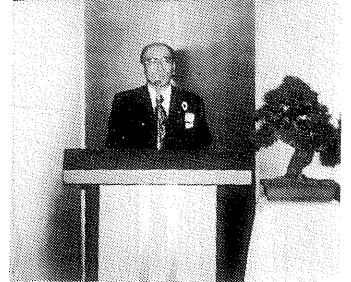
白橋工団連会長は、中央区内の学卒者を、区内の事業所に就職して貰いたいと訴えた。

日本橋支部平林支部長は、日本橋は京橋の弟分支部として中央区内で懸命に努力していると前置し、今年は昨年に引続き需要も低迷しそうだが、不景気、不景気という言葉に負けないよう組合は団結して乗り切って行こうではないか、努力するところに必ず途は拓けると信じていると挨拶し、最後に製紙業界の不況カルテルに言及し、在庫調整という名目もついに価格調整のような恰好になってしまったが、われわれがもっと早く団結して英知を出し合ったならば未然に防げたの



満席となった会議場

臨新支部京橋組合印刷業



松島副理事長

ではなかったかと結んだ。

最後に本部相談役、支部顧問の石沢幸氏は、産業界における技術革新は目覚ましいものがあり、印刷業界にもエレクトロニクスと結びついた新技術が数々とり入れられ、コンピューター時代に入り、私共はついて行くのに骨折っている次第ですが、皆さま、特にお若い方々のご指導によって厳しいこの時代を乗り切って行きたいと考えている。また製本業界、関連業界の方々と手に手をとって、一歩でも二歩でも前進しようとして結んだ。

最後に田島副支部長は、京橋支部の構改調査表ならびに事業者台帳の未提出の数字をあげ、協力を要請した。

竹内監査は立って皆様のご協力で総会も無事終了したことを感謝すると挨拶して、六時前に閉会となった。

少憩の後、席を大広間に移し、新年宴会となった。

室田副支部長は宴会の司会を勤め、水野、神林両副支部長が進行係として紹介

ハイデル情報

ハイデル単色Mオフセット機
菊半裁判 四八〇×六五〇mm

最高速度八千

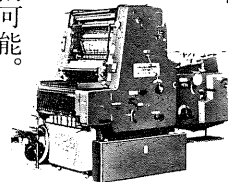
毎時。ナン

バリング、

刷り込み、

マシン目

入れ、二分割可能。



ポーター情報

ポーター九二EMC断裁機。

最大断裁幅九二cm

マイクロー

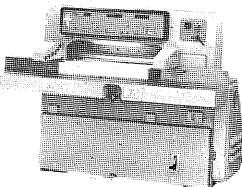
ンピュータ

搭載の新高

速断裁機。

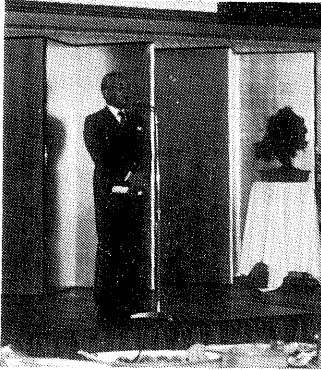
積紙高十二cm

重量一六六kg



印刷機械貿易株式会社

香里本社 大阪府寝屋川市豊里町一四
電話〇七二〇二二一〇四四一
東京事業部 東京都品川区南大井三二一四
電話〇三三七六三二一四一



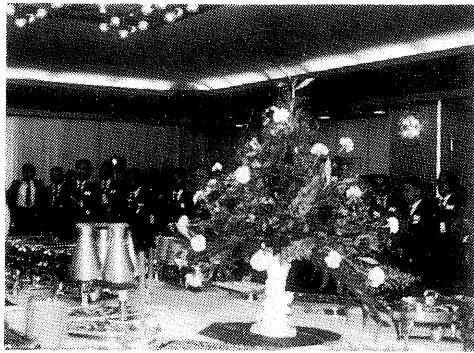
関連業界を代表して山口社長

石曾根支部長は関連業界の方々のご協力を感謝申し上げる挨拶を行った。関連業界参加の皆様には、社名が呼ば上げられ、紹介をうけた方々は挙手してこれに答えた。

関連業界を代表して 柳山口封筒社長、



新年懇親会にご挨拶 石曾根支部長



飾りつけも豪華に

周囲を見ると、もっともっと厳しい業種もある。印刷はまだまだだと言う風にかけて「頑張ろう」と短いながら力強く杯を上げて乾杯の音頭をとった。
演芸に移り、正司照江の軽妙な司会により、ゼンジ北京の手工品、コント赤信号



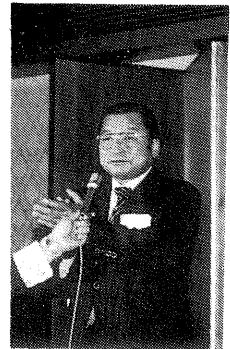
乾杯 伊坂顧問

山口和夫氏は挨拶を行ない、布行して封筒業界の実情について可成りの時間をかけ詳細に説明した。
東印工組顧問、伊坂一夫氏は「印刷業界が苦しいのは事実だが、視点をかえて



ご来賓の皆さま

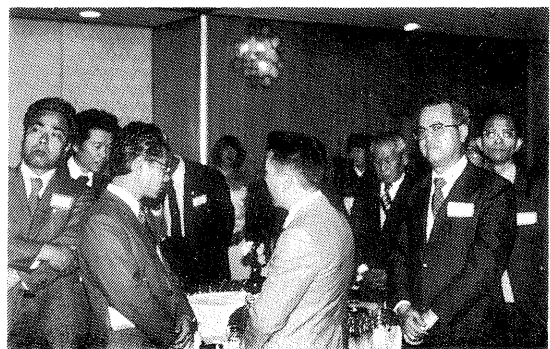
のコントと続き、恒例のとおり飛入りノド自慢となり、各地区からの出場希望者が多く、進行係も大童だった。
各テーブルでは、組合員と関連業界の方々の歓談が雰囲気盛りあげたが、時間の制限もあり、支部相談役、久保田幸一郎氏に中締めをお願いし、散会した。



中締めは久保田相談役



正司照江さんと



随所で交歓

経営者に求められる

リーダーシップ (II)

千葉工業大学教授 鳥居 鉄也

筆者紹介 昭和18年東京帝国大学理学部卒、海軍技術士官として勤務。終戦後東大化学教室にて地球学の研究。昭和30年芝浦工大教授。昭和38年千葉工大教授現在に至る。専攻は地球科学。財団法人極地研究振興会常務理事。昭和31年11月南極観測隊結成以来隊員として参加、第4次・第8次の越冬隊長。北極を含め過去21回に及ぶ極地体験をしている。

したがって新聞でご覧になった方も多いと思いますが、サウジアラビアのファイサル殿下などは南極氷山利用会議の議長をしています。そして自分がスポンサーになって、各国の南極の氷の研究者を二年おきぐらいに集めて、南極氷山利用会議を数年やっています。氷山を引っ張ってきて氷を解そうという計画、これは将来小さい年らもどこかで実現するのではないかという見方を私はしています。すなわち、オーストラリアの国土庁の報告をみますと、一辺が二、七キロメートルのおとふ形の四角い氷山を想定して計算していますが、氷山というのは厚

みが二百五十メートルです。これが適当な大きさの氷山です。ワイヤロープで氷山に鉢巻きをし、天日で解けないようにプラスチックのシートのカバーをして、タックボートで引っ張ってくる。そのくらの氷山を引っ張るのに、時速一ノツトであろうと計算しています。それで六台の北の端の氷山を、オーストラリアのメルボルンまで運びますのに、三千キロちょっとありますが、六ヶ月かかると思います。六ヶ月かかってもメルボルン港に到着した時には、その氷山は約六割は確保出来き、四割が解けるだけだといえます。因みに、このくらいの氷山はどのくらいの水の量かといえますと、約二十億トンです。これを引っ張ってくると、半分に見積もっても十億トンの真水が、メルボルンに補給される報告があります。南極の氷山利用というのは不可能ではないといえます。十億トンの氷というのは、だいたい東京都民一千万年の一年間の水の量ではないかと思えます。水としては非常に貴重な資源が南極にあるというところを、本日お伝えしておきたいと思

います。

だいたい今のところ、一年間に大陸の沿岸から南極の海にこわれて落ちる氷のかげらの量、すなわち氷山の総計は七千五百億トン、先程申し上げた大きさの氷山に換算しますと四百個分ぐらいますが、毎年沿岸からわかれてドンドン誕生します。ソ連の人工衛生の写真からの報告では、氷山の数は大陸の囲りに二十三万八千個くらいあるようですが、年々新しく生まれ、だんだん消耗し消えてなくなるものがあるというのが実状です。そういう意味から、南極の水資源という問題を頭に浮かべて、将来の利用を考えるのも夢があって面白いと考ております。

こういうような氷山のある南極でありながら、地学調査をしている内に、南極の岩はだから二億八千万年前の古生代の植物の化石が見つかったり、あるいはその他の植物、マキガイの化石、さらに千九百七十年に入ってから、恐龍の先祖である爬虫類の化石まで見つかりました。どうも南極大陸は氷の積もる前は、面白い所があったのではないか。千九百一十一年ドイツのウエーゲナという学者がとなえた「昔、南半球の諸大陸は一つにくっついたゴンドラナ大陸であった」というゴンドラナ大陸説というのがありますが、こういう話が爬虫類の化石の発見から復活して、現代ではほぼ間違いないということになってきました。

こういうことになってから、南極の地下資源問題は急速に進んできて新聞紙上

和・欧文 活字
材料 / テープ・メタルベース 他
インキ / 阪田 大日本 東京 東洋 各

和・欧文 各パンフレットあります



株式会社 京橋岩田母型

551 - 1380・2830・(店頭)2827

47のビジネス封筒
名刺・カード・はがき

- 営業品目
- 事務用和洋封筒
- 名刺用紙
- 私製はがき
- 招待状カード
- マド付封筒
- ROマド封筒
- DM用封筒

株式会社 47 エニパック

- 本 社 東京都江東区永代1-2-1 電話(642)1141(代表)
- 配達センター 東京都江東区永代1-1-7 電話(643)3237(代表)
- 支 店 城南宮(227)4141 本橋(643)7461 城西(994)5151 浅草(643)7851
- 橋本工場 橋本県下郡賀野木町友沼 電話0285(5)2100(代表)

に話題となるようになりました。という

のは御承知のように、南極大陸はほとんど氷におおわれ、岩はだの出ている所は少ないわけで、氷の下にはどれくらいのもがあるかわからなかったわけです。昔、オーストラリアのアデレードや、アフリカのケープタウンや、南米にくっついていたというように、ゴンドラナ大陸

説による寄せ木細工のようなつなぎ方をした時、相手側にいるいろいろな資源がどんどん出ているとしていたら、ちぎれた方にも、例え氷の下でも隠れているだろうということ、それから南極の鉄鉱石、ウラン鉱石、あるいはダイヤモンド、白金という問題がいろいろとクローズアップされてきました。二十年前に南極がは

じまりました時には、国際南極会議に行つて南極を利用するというような話をしたら、お互いに軽べつされるような雰囲気でした。今はそういう会議に行きま

す、お前の方は南極で何か見つけているか、どういう考え方をしているか、いかに利用するか等ということを話題にすることが多くなりました。本当に世の中は

変わってきました。南極は今までは科学者だけで、南極条約という政府間の条約もありませんが、平和な共同観測が行われて

きました。これから先、国の利益がからんできますと、昔の探検時代に、ここはおれの先輩が初上陸した所だとかいうようなことが持ち出されて、領土の問題やその他資源とあわせて問題になる気がし

ます。ここで私は、南極でいろいろと生活をした話をいたしましょう。

今年南極の昭和基地で三十四人が越冬生活をしています。ロビンソンクルーソほどではないにしても、孤立した生活、孤立した集団社会であることには間違いありません。ラジオは聞えない、テレビが見られない、手紙は船がくるまで誰も持っていない、こういうような隔離された所です。

つまらない話ですが、南極の基地で冬の夜なのに、寝る前に一ぱい飲んでい

る時、「お前の奥さん美人だし、若いから少し危ないんじゃないか」等と話が出ますと、みんな急にしんとしてしまい、翌日は日本に向けて電報を打つ人が非常に多くなり、男として誠に悲しい環境です。

こういうような所で暮していると、私どもは運よく越冬生活というリズムにのって暮している人は幸福ですが、つかみそこなった人は、プロ野球のチームでは

ありませんが、どん底状態になります。こういうような点も、例えですがあるような気がします。一番早く自分の弱点を

ものではありません。

こういうような所で、一番大事なのはルールを守ることだと、私は思っています。第一次越冬隊から必ずその越冬隊の計画にあった基地規則を、全員で

検討して、それを守るようにしています。若干の訓練だけの付き合いで出かけるだけですから、船に乗ってからは、まった、こんな男、連れてくるんではなかったと、内心思うことが、二回ともありました。

しかし私は不思議と同時に体験したのですが、今の若い人は本当にだらしない、団体訓練がされてなくてだめだ、軍隊経験のある私どもは非常にその点優れているといえますけれども、私は今の若い連中は知らないだけで、教えてやれば我々以上に立派にやるわけで、我々の後輩は我々と同じ日本人である。私は指導

してやればよいということも、また発見しました。はじめは本当にとんでもない代物をつかまされたと思いました。南極観測隊というのは、各部門からの推薦者の集合体ですから、隊長が知っている人を引く張つてくるということは極くわず

かです。本当に集団生活は、はじめはいろいろとまごつくこともあるわけです。私たち基地におきましては、天皇誕生日など日本の祝祭日には、休養日課をとるようになっていますが、そういう日は基地に立っている何本かのアンテナの一本

に、日の丸の旗をあげることにしていま

対話へのかけ橋

1枚の封筒にも
大きな使命が
かせられています。



山口封筒

本社 〒104 東京都中央区八丁堀2-2-7 電話(551)1151代
工場 〒132 東京都江戸川区西端江4-21 電話(652)7721代

す。最初は越冬しますと、例えば天皇誕生日には、隊員に日の丸をあげると言う必要がないわけです。我々ああいう所に行きますと、年配の者よりも二十代の方が、日の丸を愛用しまして、祝祭日には朝食前にすぐ日の丸をあげたり、旅行する時には雪上車に日の丸をあげ、我々以上にやります。私は逆にいい、むしろ、南極のような環境において、よりどころを求めるといふものが、人間として必要なわけです。何故自分がここに来ている問題と、各々の人が考えている問題と、私はその一つのあらわれが、外国基地との接触です。一日に六回外国基地とデーターの交換をしますが、それが若い人にはフアイトになるようです。こういうような環境において、我々の後輩も同じです。

ばどんだんのびていくということを体験しました。

日課を正確に守るといふことはルールにつながることで、非常に大事です。また日課を守るといふことは、お互いに相手の職務分担を信頼することにもつながります。

例えば、越冬生活では交代で食堂、食卓、その他いろんな当番をやります。一人がルールを乱しますと、日課が全部くずれます。昭和基地に例をとりますと、五月三十一日に日没になりますと、七月十二日まで太陽の出ない真暗な夜が続きます。その代り、真夏の十二月から一月にかけては同じように太陽の出ばなしの日が続く、こういう気象の特異性のある所で暮している時は、起きる時には起き、食事をする時にはちゃんととるといふ日課を守ることが非常に大切であり、引いては行動の安全にもつながり率にもつながります。こういうことが出来ると、チームワークもおのずと出来るような気がします。チームワークといふことを、私なりに考えますと、安全に行動してルールを守ることにつながると思います。

私の仲間の企業あたりでは、スポーツの選手をした者は成績が悪くても、無条件にとるといふ者もいますし、一方ではいい奴をとりたいという意見の者もいます。私はスポーツ選手のいい所は、重々わかっていまして同時に、一般の人も、たとえ落ちこぼれた人でも、これは教育です。企業が人間を使う場合、教育が出来るんじゃないかと言ったり、友だちと議論をしたりしたこともあります。私は南極の体験から、若い人はよく導いてやれ

が全員に目をくばり監督することは不可能になってきます。各々責任者を決め、対話を円滑にいくようにしておくことが大切だと考えて私たちは越冬中、観測関係のグループと、通信・機械・医者・コックさん等を設営と呼んでいます。この設営グループの二つに分け、別々に会合をもち、各グループに責任者を決め、言いたいことをいわせました。全体が集まると遠慮していいませんが、分れますとお互いにある人は困るといふ話も出ました。これを持ちよって円滑にいくように努力しました。極地の行動においては、対話の場をつくるのが大事だといふことを、体験すると同時に、働きやすい環境づくりを隊長がしているかどうか。南極というところは、利害関係の全くない仲間同志の集まりです。私がポリーナスの査定をするという人は一人もいない。ですから隊員の中には隊長に何とかわれようと平気だ、というようなアンチ隊長の人がいてもいいわけです。これでは能率増進といふことが、いつさい出来ない。目標を完全に遂行することも出来ないというチームになりますから問題です。集約して働きやすい環境を作ってやらなくてははいけません。こういうことに極力相動めました。

とりわけルールを守るといふことは、四次の時にも同じようにやってきたわけですが、遭難当時、外国隊が滞在している、チームとの問題があり雰囲気は乱れ

写植のことなら何でも...

- 各種写真植字機
- 写真植字文字盤
- オペレーターの養成〈写植スクール〉
- 版下マンの養成〈フィニッシュワークスクール〉

株式会社 **モリサワ**

東京支店 東京都新宿区下宮町15-5 〒162 ☎03-267-1231

ここに鮮やかな一枚
ノーカーボン紙
レジンCCP

十條製紙

〒100 東京都千代田区有楽町1-12-1(新有楽町ビル)
TEL.東京(03)211-7311

たところに、事故が起きたわけです。二度目の時は厳格にそういうことを守るようにはしました。

今年もまた来年も、このところずっと四次隊と八次隊の隊員が交代で越冬隊長になっていきます。その連中が初めて隊長となって昭和基地にいき、そこから電報をくれます。自分は隊長になって越冬し初めて鳥居隊長の苦勞がわかったというようなことを言ってくる人がいます。また私はあの時の教えを守って元気にやっていますと、よこしてくる人もいます。きびしくやるということは、時には反感をくらいますが、徹底的にやる時はやります。基本方針のルールを守らないと、危険にもつながり、能率阻害にもなる。それを考えた時、躊躇することが一番問題になるということを、私は体験しました。

自分がああいう所でみんなの監督をしていますと、先輩は本当に良いことを言ってくれるのだと思いました。この言葉の裏の意味を体得するものです。普段読みすぎすと私も何でもなくすむものを、自分が苦勞しながら、直面しながらやっていると、いろいろ味がわかっていくものです。

また私は越冬中に非常に感じたことの一つに、隊員の中でみんなに好かれる人がいるということ、二度とも見ています。要するに人気があるわけです。たいした美男子でもないし、特別どこがいい

というわけではないが、何かあると必ずその人が中心となって、みんないろいろと話題を提供したりされたりしているような人です。みんなに好かれる人とはどういう人かと、私なりに見てみますと礼儀というものを適当に弁えているというところが共通した点です。礼儀というのはしつけとしてはむずかしい問題ですが適当な礼儀を弁える、また同時に適当に教養を持つことです。本当に人生も楽しんでしようし、と同時にみんなに好かれることにつながることも知りました。私たちは越冬をする時に、隊員の御両親あるいは御兄弟に家族会を作りまして、お目にかかります。また帰ってきてからも

そういう方々に無事帰りましたと、短時間ですがお目にかかる機会があります。今、申し上げたような越冬隊の中にあって、一方では何かにつけむたがられ、嫌われる環境の中にあつて、みんなに好かれるという人は、家系というものと深いつながりがあると感じます。とりわけ母親の力、そういう方のお母さんには共通性があつて、何かおつとりと構えていて豊かな包容力があるような印象を私なりに持っています。そういうことが将来の子供たちに影響があるということ、南極を通じて体験したわけです。

私は最初に申し上げましたように、福島隊員の遭難事故の第四次隊で、十月十日に行方不明になり、七年四カ月後、本当に宿命と申しますか、私は第八次越冬

隊で、明日日本に帰るという前の日の晩に、雪の中から遺体があらわれてきました。二度目の越冬で、もう二度と昭和基地にこないという直前に、遺体が出て、昔の仲間の遺骨をだいてかえるという体験をしました。それ故に、私は、一番限られたきびしい環境においては、ルールを守るということが、先輩の教えをよく体得するということが、世の中に生きていく上にも大事であると感じました。みんなが気持よくやっていたためには、個々の人の基礎教育、適当な礼儀をわきまえるような教育が必要なることを感じた次第です。

私は越冬から帰りまして、ケープタウンに入港上陸しましたが、越冬中は陸へ上ったら映画館に行くとかバーに行くとか、いろいろ勝手なことを言っていました。が、たいしての人は申し合わせたように船で弁当を作ってもらつて、上陸して植物園に行き、我々大の男が芝生にねころんで一日過すことをやったわけです。一年以上氷の南極にあつて、緑をみなかった恋しさというものがあるかもしれませんが、やはり、やれやれ帰ってきたというような気持で、青色を久しぶりに眺めるといふ純粋な気持、これは一年氷の大陸に住んでいると自然に出来るのではないでしょう。最初に申し上げましたように、自然に親しむということは、人生にとって何か益するところがあるような気がします。

隊で、明日日本に帰るという前の日の晩に、雪の中から遺体があらわれてきました。二度目の越冬で、もう二度と昭和基地にこないという直前に、遺体が出て、昔の仲間の遺骨をだいてかえるという体験をしました。それ故に、私は、一番限られたきびしい環境においては、ルールを守るということが、先輩の教えをよく体得するということ、世の中に生きていく上にも大事であると感じました。みんなが気持よくやっていたためには、個々の人の基礎教育、適当な礼儀をわきまえるような教育が必要なることを感じた次第です。

三菱製紙特約店

株式会社 三和洋紙店

本社 東京都中央区入船3丁目4番1号
電話 東京 (552) 2731番 (代表)

印刷製本が支える 組合給食

事業主と従業員の栄養源
健康を守る

給食センター

中央厚生事業協同組合(551)4909
理事長 清水 栄之助
◎ご利用をお待ちして居ます

国際組版・上海工場訪問記

銀座地区 大橋 忠治



中国図書進出口総公司 上海光華印刷廠の建物

昨年十一月、私は中国を訪問するチャンスがありました。訪問の目的は、上海に半年程前にできた印刷工場を視察する

ことだったので。上海の印刷工場というのは、完全に「日本語」の組版をする工場で、二

年程前から、東印工組の出版印刷部会が、『中国図書進出口総公司』との間で、話し合いをつづけた結果、前年の秋に双方の合意によって、中国側が、工場をつくり、印刷労働者を募集する。日本側は、印刷工場に必要な資材や器材を新たに購入して、中国側に貸付ける。さらに技術

については、日本側が、中国に技術指導員を送って、中国の労働者に、文選や組版や、活字の鑄込み、清刷り技術に至るまで教育と訓練を行う。また、何人かの労働者を留学生として受け入れて教育を受けさせる、ということが協定されました。

約一年間の工場設立の準備期間が必要だったわけですが、八一年六月、「中国図書進出口総公司上海廠、光華印刷廠」として発足しました。

上海へ

一九八一年十一月七日、成田発の中国民航機は、十六時十五分出発で一路、上海に向います。

中国の飛行機とはいえ、やはりアメリカ製DC10、しかし、日本の国内で全日空や日航が使っている同型機に比べると大分、古く、ややお粗末で、たぶん、どこかの中古を譲り受けたものではないだろうか？とみんなで話し合ったほどの飛行機だった。

上海まで所要時間三時間、ひかり号で

東京から大阪までの時間と全く変わらない近さである。

一行は、精興社の青木社長(国際組版 交易(株)社長)を団長に、双文社々長倉沢副団長(国際組版専務取締役)をはじめとして、三松堂印刷支部社長、三美印刷山岡社長、理想社田中社長。三秀社山岸社長、平河工業社和田社長、小葉印刷小薬社長、日之出印刷長沼社長、中和印刷石崎社長兄弟、等々総員二十四名、他に秘書役として磯野全印工連専務理事、通訳の女性二名計二十六名という構成、いづれも東京の頁物印刷の中堅企業の経営者の皆さんであった。

機内のサービスは、紙に包んだ飴が五つとウーロン茶がただけというきわめて簡素なもので、日航や全日航はいうにおよばず、アメリカ、西ドイツ、フランス、オランダ、イタリアの旅客機の機内サービスとは雲泥の差があった。もちろんウィスキーやワインは注文すれば、スチュワーデスさんが運んできてくれるけれど。

スチュワーデスは、若くて美人ではあるが、質素で黒っぽい中国服だからあまり引きたないのが可哀そうだった。しかし、ニコニコと笑顔で応待している一種のさわやかさを感じさせる。

やがて機は上海の上空に近づいたが、地上では、街の灯りが余りにも眩しいのに一驚。「こりやこも省エネだ。」と誰かが大きな声を出す。

やがて飛行機は上海空港に着陸、晩秋の月が空港を照らしだし、空港ビルの屋上の「上海」という草書の文字が輝やいている。空港のロビーも、質素な造りだったが、ホールには、毛沢東、周恩来の毛筆によるメッセージが印象的である。心配していた旅券のチェックもきわめて簡単で、パスポートの写真と本人と同一かどうかを別に確かめるでもなく、入国査証は、資本主義国のそれよりも簡略でこちらは気合い抜けの感じであった。

それともう一つ奇妙だったのは、空港に着くまで、今夜はこのホテルに泊ることになるのかまったく判らないということである。

あとは、国営旅行会社の通訳さんの案内まかせだが、バスは、暗い街をひたすらホテルに向って走る。通訳は男性一、女性一で親切そうだった。

上海の一夜

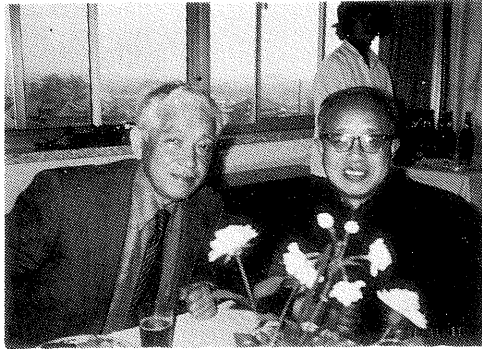
ホテルは、上海の中心街よりかなりはずれにあって、静かな処だったが、その夜のおそい夕食では、紹興酒やビールで乾杯、ただし食卓のビールはいくら呑んでも無料、紹興酒などの酒類は、注文してボーイが運んでくると、その場で代金を払うことになっている。(中国の貨幣は、一元が一四〇円くらいの換算率)

紹興酒というのは、日本で、中国料理屋で、カンをつけて氷砂糖を入れて飲む

あれである。

翌朝は八時出発で、お目当ての印刷工場を訪問した。

この印刷工場は、中国図書進出口總公司上海廠の「光華印刷廠」とよぶ工場ですべてが東印工組出版印刷部会からの技術提供と、設備に対する協力で出来上がった工場です。



中国図書進出口總公司 对外經濟合作弁公室
副主任 李大川さんと筆者

この工場は、上海市の東端にあって、市内からは、かなりはずれたところにあります。そこへ行く途中、バスは、かつてのフランス租界、共同租界の間を進む。西側の街路樹が枝や葉を遠慮なく伸ばして、通りを狭くしていて、前からくる自動車やバスが、いまにも、こちらのバスにぶっかかりそうに走ってくる。こちらのバスの運転手の腕もかなりのもので、巧みにかわして走る。その都度、東

京のタクシートのたくみな運転手の技術には馴れている筈なのに、「ホオッ」とか、ハアッとか声にならない声を出す。道には自転車が多すぎた。

光華印刷廠

朝の街の歩道で大極拳をする老人を処々で見かける。バスは、やがて目的地に到着する。そこが、日本語|| 日本文印刷を専門とする光華印刷廠である。

三階建の、決して新しいとはいえないコンクリート建ての工場。

正面入口には、「日本の国際組版交易の友達が私たちの工場に参観することを熱烈に歓迎します」という日本文字が、黒板に色チョークを使って、びっくりするような巧みな文字で書いてあったのが、不自然なほどの印象を感じさせるものであった。

この工場には、七十八名の労働者がいて、若い女子労働者が文選作業を支持っており、手文選、手組みの組版工場である。われわれと比べると、約二〇年前の作業方式と比べてよいと思う。一カ月前約三千頁(B5判)の組版ができる工場である。植字工が、椅子に腰かけて作業をしているのが異様な感じであった。

この工場の組版仕事は、一〇〇〇多東印工組・国際組版交易会社から送られてくる原稿だけを、この工場の仕事として取り組むことになるが、今、日本の出版印刷

は、不況のさ中にあるとあって、組むべき原稿が送られて来ない、という状況で、なんとも皮肉な話ではなかった。

仕事がない、ということが、何んとなこの労働者の元気を無くさせているのではないかと思えた。

十一月十五日以後でないと暖房が入らないということで、天井が高くスペースの広々とした工場はたいそう寒かった。

清水製作所製の「清刷機」を試動してみせてくれたが、この低温工場では、ルラやインクが堅くなって、字切れやインキのカスレがでるだろうと思ったら、案の定、同行された文祥堂の杉山部長が、印刷を点検していわく「この清刷では、日本では通用しない」と指摘、工場側の幹部の顔が曇った。幹部も労働者も、この清刷で充分いける、と思っていたらしいのでショックは大きかったようである。

結局、杉山さんや、飯田母型の飯田社長が、一日、指導することになった。技術や製品の精度について、日本側と中国側にかんがりのひらきがあるのはあるいは当然で、今後の研究と熟練が必要なんだろうと感じた。ただ、こんな寒い工場でも一日中指導をする飯田さんや杉山さんはチヨットお気の毒なことではあった。また、団長や副団長、一行の中の幹部の皆さんも、我々が工場からさようならをしたあと、引きつづき、中国側の幹部たちと終日、会議をひらき討論をされた由で、たいへんご苦労なことであったと思う。

湊地区懇親旅行記 中山英男



心配されていた、台風24号も各地に雨の被害をもたらし、前日に太平洋上に去り、文字通り台風一過、雲ひとつない秋晴れの旅行日和に恵まれて、年一回行われている恒例の湊地区懇親旅行が十月二十四・二十五日の両日にかけて実施された。

湊地区の旅行は、遠近を隔年に行う慣例になっており、去年は、四国・鳴戸のうず潮観潮を主とした旅行だったが、今年は近隣のまだ行ってない所をと、群馬県の名湯「四万温泉」に紅葉狩りを兼ねて行くことにした。

出発の定刻、八時三十分に参加者三十一名全員、鉄砲洲公園脇に待機しているバスに乘車、一路目的地に向け発車スタート。


おきまりのバスガイドの挨拶と紹介に続き、長島地区長の旅の三大ポイント、天候と宿と食事が満たされる旅にしたいが、先づ最初の天候は、申し分ない晴天であり、あとの二点も、きつと満足されることと思います。と挨拶があり、各自に飲物とおつまみなどを配り、くつろいだ気分にしたる。

首都高速道路から関越自動車道路と、さしたる混雑もなく、順調にバスはガイド嬢の解説を後に残してひた走る。前橋インターから高崎市に入り、昼食場所の「高崎かっぱあ」にバスを停める。

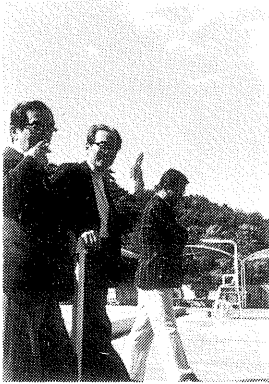
高崎白衣観音近くに造られた遊園地内は思ったより広く、バケモノ家敷や

生産性の「拡大」に
「コニースーパーテン」がお応えします。

毎時1万枚の超高速菊全判オフセット印刷機 2・4・5色機

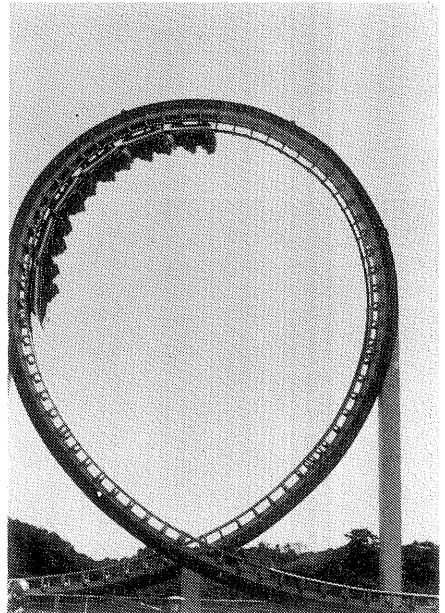
 **小森印刷機械株式会社**

本社 東京都墨田区吾妻橋3丁目11番1号 〒130 東京都(624)7161番(大代表)



ら、ジェットコースター、大滑り台のあるプールから、結婚式場まである施設にびっくりする。丁度、われわれが食事をする隣りがそれで、振袖姿の若い娘さんが受付をしている。花婿、花嫁さんが一端で式を待っているのも微笑ましい。

地方のせいかな、また季節外れもあってか、園内は割合すいている。東京の遊園地の日曜日など、ジェットコースターに乗るのに、行列をしているのを見かけるが、ここでは客がなく、若いアベック



二人だけに乗せて、青空に猛烈なスピードで輪をえがいていた。

「こんにやく料理」は何処でも出されるが、油揚げを使わず、こんにやくの横をさいて、その中にごはんを入れた稲荷ずしは、土地柄を思わせ面白い。

「こんにやく料理」は何処でも出されるが、油揚げを使わず、こんにやくの横をさいて、その中にごはんを入れた稲荷ずしは、土地柄を思わせ面白い。

昼食後、榛名神社を参拝する。山の冷気が肌にしみて快い。本殿に通じる参道の両側に並んでいる石柱に、信心深い寄進者の名前が刻まれて、長い風雪にさらされながらも、はっきりと読みとれるもの、うすくなって判然としないもの、時代の変遷を思わせる。

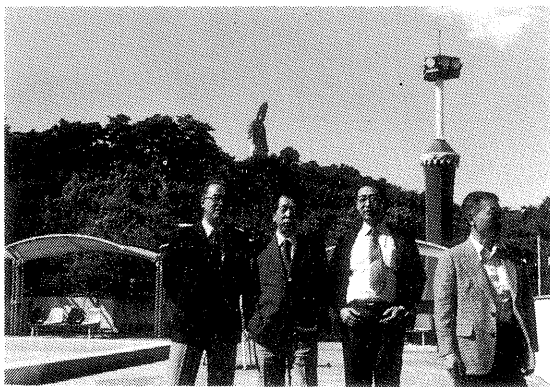
榛名湖の深淵は、倒錯した緑を映し出し、見事な景観をみせている。湖畔荘屋上で対岸の山を背に記念撮影、小憩の後宿泊地の「四万温泉へとバスを進め、午後四時三十分「ホテルやまぐち館」に着する。途中、山峡の道は狭く興趣に富んだ景色に見とれたが、四万温泉郷に入り、鄙びた旅館が数多く見られただけに

「やまぐち館」の立派さには驚いた。新築とは聞いていたが、四万川にかかるよう設計され、ロビーから対岸の紅葉が美しい。

午後六時の宴会時間まで、それぞれ湯の中に身体を沈め旅塵を流す。

四万川は利根川の上流であって、この渓谷に面した浴場は、広々として清潔で湯量も多い。露天風呂が隣接しており、山の冷気を肌感じてとつぶりと首までつかる、渓谷のせせらぎを耳にし、山の紅葉を賞でながらの入浴は、また一段と格別である。

宴会案内のアナウンスに、うながされて宴会場に集合、幹事のつくったカードに番号を合わせながら席につく。長島地



プロセスインキの最高峰

New Champion

Super Apex

 大日本インキ化学

山桜製品

 株式会社 山 桜

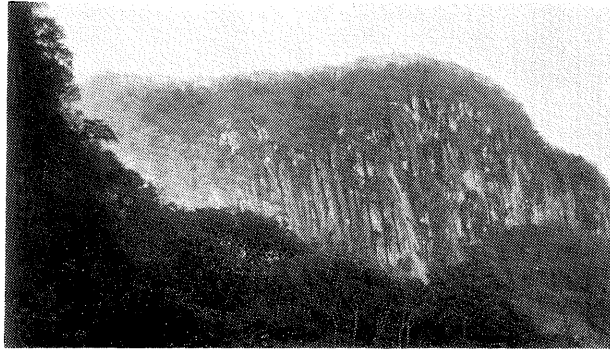
本社 東京都中央区築地3-2-9
電話 542-8511 (大代)

工場 東京都昭島市大神町1046番地

支店 神田・中野・五反田・浅草・板橋・亀有
墨田・蒲田・横浜・千葉・大阪

区長、田島副支部長、荒川相談役、中村文化産業信用組合京橋支店長の簡単な挨拶に続き乾杯。宴会に入る。

ホテル側から、皆さんに一言ご挨拶をさせてほしいと申し出があり、ホテルの社長夫人である美人専務が、番頭ともども深々と頭を下げてお礼言上。いよいよ



宴会がはじまる。

お酌の芸者も揃って、どうぞおひとつと酒をすすめられたが、先程の美人専務にくらべて、何んとも差がありすぎてゲンナリ。ある程度アルコールが入ったところで、幹事の趣向でつくった福引を行う。芸者に番号を読ませ、三等から特賞

まで、当り番号を読み上げるたびに、童心にかえっての大きなき。等外は参加賞のお土産と、カラクジなしの大盤弘舞いは、懇親旅行の楽しい思い出となることだろう。

四方温泉は、もともと湯治場で、観光的な趣きがなく、プロの演芸もないので、旅館の特別提供に、女中さん達の手踊りのサービスマンがあり、ヤンヤンヤの大囃采、レコードに合わせて踊る独演の黒田節と、人生劇場は素人はだして、芸者連中の踊りの時はそれ程でもない拍手が鳴りやまず、アンコール、アンコールと大変な好評で、全員気分がよい宴会に酔いしれて、各自の部屋に落着く。

翌朝は八時朝食、九時出発と少々あわただしかったが、一人の遅れもなくバスに乗車、二日目の旅程に入る。旅館からほど近い場所に「日向見薬師」という小さな御堂があり、国宝に指定されている由緒あるものであるが、堂守りがいる訳でもなく、放置されているようで驚いてしまう。

中之条町から沼田市街を抜け、片品川溪谷の紅葉を観賞しながら「金精峠」へと車を進める。金精峠のドライブイン脇に自然木の男女のシンボルを祀った金精様がある。土地によって石のもの、木のもの種々あるが、昔の人々が子孫の繁栄と、子宝を神仏に祈った素朴な信仰の表われが、このような形で残されたものと興味深く感じる。

冬になると交通が出来なくなるといふ金精峠から見る男体山の頂上は、うっすらと雪化粧をしていて、うす曇りの空から、風に舞って雪がさらさらと車のフロントガラスに当たって融けた。戦場ヶ原から竜頭の滝と車を進めるが、季節がら観光客が多く、交通渋滞で十二時半に予定していた昼食場の、中禅寺湖畔に着いたのが何と、午後二時五十分。慌ただしい昼食だが、空腹を満たすパーベキューの肉の味はまた格別。

食事をすませて三時三十分出発帰路に着く、有名な「いろは坂」の葛折りの難所もベテラン運転手の見事なハンドル捌きで無事通過。十月六日に開通した新有料道路に入り、日光、今市の市街地を通ることなく東北自動車道に入った。あとは順調に進み、午後八時三十分鉄砲洲公

▼水濁法改正で特定施設届出義務をご存知ですか

既報のとおり水質汚濁防止法の改正に伴い、特定施設の届出が義務づけられ、当業界では規制される施設が増加している模様であるので出来る丈簡易に済むように都下水道局と支部長会、公害防止対策委員会が協議の結果、とりあえず表紙だけの届出をすることにしました。

○特定施設

- (イ) 「自動式フィルム現像洗浄施設」

園前に到着、お土産と楽しい思い出を手にと、それぞれの家庭に足を急がせた。

無担保・無保証人

文信フリーローン

上手な住居づくりに

文信マイホームローン

生活には必ずみを

一休 文化産業信用組合 | 京橋支店

東京都中央区八丁堀4-13-1 ☎551-9625(代) 📠104

①写真フィルムの現像及び洗浄施設であって現像、洗浄の操作をすべて自動で行うもの。

(ロ) 「自動式感光膜付印刷版現像洗浄施設」 ②感光膜付印刷版 (PS版) の現像及び洗浄施設であって、現像及び洗浄の操作をすべて自動式で行うもの。それぞれ廃液を下水道に流す施設と、廃液を回収している施設も届出を要します。届出先は下水道等公用水道の場合は京橋支部事務局へ提出し一括して都へ提出します。用紙もあります。3月末迄に提出をお願いします。

82ドルッパ展および欧州印刷 事情視察に参加しよう

東印工組日本橋支部、京橋支部合同のドルッパ展見学および欧州各国印刷事情視察旅行が、今年六月五日から二週間に亘り、後掲日程の通り行われます。

現在のところ、まだ五名程の余裕がありますので、ご希望の方は支部事務局までお申込みください。旅費その他詳細については事務局に資料があります。事業主の方、夫人、従業員の方も参加いたします。総勢は四十名の予定です。

なお、「ドルッパ展」とはご承知のことと存じますが、世界でも最大の規模をほこる「印刷及び製紙に関する」見本市

で、本年はその「第八回国際印刷・製紙見本市」として、西ドイツのデュッセルドルフに於て開催されます。世界中の印刷・製紙に関する最新情報、機械が一堂に展示され、多数の見学者がこの「印刷オリンピック」に参加しております。

今回のこのドルッパ展旅行は、ドルッパ展をメインに、ヨーロッパ各都市の印刷業界を視察し、今後の事業の発展に役立てようとするものです。

ドルッパ展視察旅行日程表は概ね左の通りになっております。

「京橋の印刷」広告募集

当京橋支部では、業界の推移、技術や営業の情報交換など組合員の結束を計るために、支部報「京橋の印刷」を刊行しています。就きましては時節柄誠に恐縮ですが、協賛広告にご応募くださいますようお願い致します。

協賛広告掲載料金

一段	天地 五〇耗	半年 (六回)	金六万円也
	左右一四五耗	一ケ年 (十二回)	金十万円也
半段	天地 五〇耗	半年 (六回)	金三万円也
	左右 七〇耗	一ケ年 (十二回)	金五万円也

図案・版下は実費頂戴いたします。

東京都印刷工業組合京橋支部

日 程

第1日 6月5日(土) 成田発ロンドン

へ(機中泊)

第2日 6月6日(日) 午前ロンドン着

午後よりロンドン市内観光。

第3日 6月7日(月) 終日ロンドン市

内印刷工場視察、ロンドン印刷大学

訪問、夕刻セミナー開講

第4日 6月8日(火) ロンドンよりフ

ランクフルトへ、市内観光(ゲート

ハウス)他、印刷工場見学。

第5日 6月9日(水) フランクフルト

よりメインツへ、グーテンベルグ印

刷博物館見学、市内観光、ライン河

下り、ケルン泊

第6日 6月10日(木) 専用バスにてデ

ュセルドルフに、ドルッパ展見学。

第7日 6月11日(金) 前日と同じ。

第8日 6月12日(土) ケルン発チュー

リッヒへ、市内観光、ルッセルン泊

第9日 6月13日(日) スイスの大自然

ルッセルン湖、ピラトス山観光。

第10日 6月14日(月) ルッセルの印刷

工場見学。イタリアの首都ローマ泊

第11日 6月15日(火) 終日ローマ観光

第12日 6月16日(水) ローマよりパリ

へムーランルージュにてショー観賞

第13日 6月17日(木) 市内印刷業視察

第14日 6月18日(金) 終日パリ観光。

第15日 6月19日(土) 午後パリ発日本

第16日 6月20日(日) 午後成田着解散

京青会 新年顔合わせ会

二月六日(土)、恒例の京橋支部印刷人青年会第三回目的、新年顔合わせ会が湯河原温泉の常宿である。「阿しか里」に於て開催されました。

当日は石曾根支部長、岩本書記、文化産業信用京橋支店安藤次長も招かれて、総勢二十二名の参加となりました。

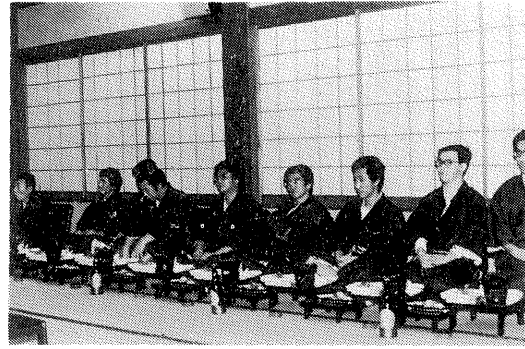
さすがに都内よりは暖かく、早くも紅梅、白梅が満開で、野天風呂から景観を楽しみながら、しばしの間、浮世を忘れてのんびりとした気分になりました。



尾島会長ご挨拶

中には宴会が待ち切れないのか、野天風呂の中に「ワンカップ」を持ちこんで内と外から体を温める人もいた。

五時半、一同大広間に勢ぞろいして、尾島会長挨拶、石曾根支部長の支部活動への協力感謝と続き、文信安藤次長の乾



京 青 会 の 皆 さ ん

杯で文信を信用調査等に是非利用してほしいと訴へ開宴となり、一同賑やかに杯を傾け日頃の話題に華が咲いた。
翌日は快晴の十国峠を経て、雪化粧の早春の富士山を眺め、楽しい一日を過ごすことが出来ました。

支部の動き

12月2日 本部支部長会、於・印刷会館
七階、石曾根支部長出席。
12月3日 東軽工中央支部懇親会、於・新川「増田屋」石曾根支部長出席

12月11日 本部理事会、於・印刷会館七階。各理事出席

12月14日 顧問、相談役、参与の会開催

於・京橋会館、理事会報告及び新年臨時總會予定等について報告。

12月21日 京青会忘年会、於・月島ヤマ、石曾根支部長出席。

12月29日 支部事務所仕事納め。

1月5日 事務局仕事始め。

1月6日 月島地区、杉森印刷株式会社長蔵

父葬儀に石曾根支部長参列焼香す。

1月6日 東京製本工組京橋支部新年会

於・銀座キャピタルホテル、石曾根

支部長出席し祝辞を述べる。

1月10日 銀座地区、(南)一誠堂森山印刷

所御母堂葬儀に参列焼香する。

1月13日 本部支部長会、於・銀座キャ

ピタルホテル新館、

日本橋支部賀詞交換会、於・京橋会館ともに石曾根支部長出席

1月14日 京橋支部新年臨時總會開催、

於・銀座東急ホテル、組合員、関係

業界ほか百三十名出席。(別掲)

1月18日 中央区工団連新年会、於、築

地スエヒロ、石曾根支部長、田島副

支部長出席する。

1月18日 入船地区、水野写真工芸印

刷社長御令聞葬儀に参列焼香する。

1月19日 中央厚生事業協同組合新年会

於・羅金楼、石曾根支部長、坂田副支

部長、出向理事の田島副支部長出席

1月21日 湊地区新年懇親会、於・八丁

堀「安房屋」

月島地新年会キャピタルホテル新館

ともに石曾根支部長出席

1月26日 次期役員選挙委員会開催、於

支部会議室、七名の選挙委員が次期

役員候補の選考をおこなう。

1月27日 本部理事会、各理事出席。

「組合員の異動」

新加入組合員(56・12月)

(南)オリエントコーポレーション(銀座

地区)、外越久丈、銀座1-4-6、

ナスダビル2F

組合脱退員(56・12月)

サンケイ総合印刷(銀座地区)、

石原隆。

訃 報

1月4日 月島地区組合員、(南)杉森印刷社長蔵父、杉森秋次郎殿が御逝去されました。行年七十六歳。

1月8日 銀座地区組合員、(南)一誠堂森山印刷所社長御母堂、森山フク様が御逝去されました。行年九十歳。

1月16日 入船地区組合員、(南)水野写真工芸印刷所社長御令聞、水野ひろ子様

様が御逝去されました。行年四十歳。

1月25日 築地地区組合員、小森印刷(南)社長御母堂、小森セイイ様が御逝去されました。行年九十六歳。

以上四名の方々の御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

編 集 後 記

新年を迎えて、政府筋では景気は回復に向っていると云っているが、われわれには一向に上向き気配が感じられない。これが低成長時における経済の正常な姿なのかもしれないが？。

このように需要の拡大のない社会、いわゆる「ゼロサム社会」という一定の大きさの需要というパイの取合いの中に於ては、節度のある経営姿勢なり、営業のあり方が求められるのではなからうか。

印刷業界に於ては、昨今ブームのO・A機器の一般会社による導入や、自社内印刷等によって需要のパイの大きさは減少する一方である。また一方紙の値上げによる需要の減退も出てくるであろう。

かかる状況の下での印刷業者は、遅かれ早かれ「需要の創造」にとり組まざるを得ないであろう。今後の各企業の人材育成等の努力が待たれるところである。

さて、京橋支部でも役員の交代時期を四月に控えて、現在本部及び支部役員の人選に大童であるが、新役員にかけられる期待は大きい。

次代の印刷業界を担う、これからの役員の方々には大変であるが、印刷業の進むべき方向についての研究に能力を揮って、印刷業界の需要拡大の方策を図ってもらいたいものである。